



2



3



4





1

- 1 掛け声とともに力いっぱい地面を叩く子供達
- 2 叩き棒はもちろん自作、当日は材料の刈取りから始まる
- 3 大人達による叩き棒作り、熟練の技が光る
- 4 菖蒲叩きの歴史を学ぶ子供たち、地域の伝承は着実に伝わっている



保存会長の
高橋敏昭さん(前列左)と
保存会の皆さん

「菖蒲(しょうぶ)」と「菖蒲(あやめ)」？

菖蒲(しょうぶ)	菖蒲(あやめ)
サトイモ科ショウブ属	アヤメ科アヤメ属
 <ul style="list-style-type: none"> ・湿地を好む ・花は蒲(がま)の穂のような黄色い花 ・菖蒲(あやめ)に似ているのは葉だけ ・花菖蒲(はなしょうぶ)とは別物 	<ul style="list-style-type: none"> ・乾いた土を好む ・「花菖蒲(はなしょうぶ)」と「杜若(かきつばた)」とはとてもよく似ている 

しょうぶ たた 菖蒲叩き ~地区で守る伝統行事~



東根市藤助新田

悪霊を追い払い、五穀豊穡を願う

6月第1日曜日の夕方、東根市藤助新田地区に子供達の元気な声と大きな音が響く。江戸時代に始まった「菖蒲（しょうぶ）叩き」だ。

「菖蒲叩き」とは、桑、菖蒲、ガツゴ（マコモ）、ヨモギで作った「叩き棒」を地面に強く叩きつけて、その大きな音と菖蒲の匂いで悪霊を追い払い五穀豊穡と無病息災を祈る子供達が主役の行事。以前は旧節句の行事であった。戦後一時途絶えたが、昭和40年に全戸加入の「藤助新田菖蒲叩き保存会」が設立されている。

叩く際、子供達は「菖蒲叩き 菖蒲叩き 山姥金時 くーんな くんな！」とかけ声をかける。「金時」とは江戸時代にこの地方で流行したおたふくかぜのこと。「山姥」「金時」という悪霊を追い払い、無病息災を祈るとともに、作物から不作の悪霊を追い出し、豊作の神様が宿るようになるとい願いが込められている。

「菖蒲叩き」が、地区の子供と大人が話をし、絆を深めるきっかけになってほしい。これからも時代を越えて伝承していきたい。そのためには、歴史を伝える人の育成も必要。」と話すのは保存会の高橋会長ら。

地区全体で守っていくという想いが伝わってきた。